

- ◆企画名 関大生なんでも Q&A (新歓オリエンテーション期間)
日 程 平成 25 年 4 月 2 日 (火) ~ 4 月 4 日 (木)
場 所 総合学生会館凜風館前ブース
参加者数 9 名 (ピア・サポータ)
目 的

関西大学に入学したばかりの新入生は、誰かに相談したくとも相談相手を見つけることが困難であると思われる。また、学内にはさまざまな部署があり、それぞれの機能に応じて学生の支援を行っているが、新入生はどの部署に行けばよいかわからない。

本事業では、こうした右も左も分からない新入生に対して、授業やサークル活動などをはじめ、大学生活（勉強とバイトの両立など）に対する不安を解消することを目的として、オリエンテーション期間にブースを設置し、個別相談に応じる。

また、本事業を行うことで、間接的にはあるが KU サポーターズの活動を新入生に認知してもらうことも目的とする。

内 容

本事業では、凜風館の入り口前にブースを設置し、訪れる方の質問に答えた。例年、ブースを訪れる方は道案内を求めている場合が多いので、直接同伴、もしくは口頭説明で道案内をした。ブースでの対応が難しい相談内容に関しては、学内の相談窓口を紹介、もしくは「ほっこり相談室」を紹介し、後日「ほっこり相談室」で対応する旨を伝えた。

感 想

今年度のオリエンテーション期間は例年より 1 日多い 3 日間であり、また、昨年度と比較すると天候にも恵まれたため、利用ケース数は 3 日間で計 86 件に及んだ。質問の多くは千里山キャンパス内の施設や部署についてであり、日頃から千里山キャンパスについてメンバー各自が多くを知っておく必要があると再認識した。施設や部署を説明する際、目的地がブースから遠い場合は、口頭で説明するより利用者と一緒に目的地まで足を運んで案内した方がより親切な対応であると考えたため、3 日間を通してメンバーに共有した。

また、ブースに 3 名以上メンバーがいる際は、積極的に学内を巡回して一般学生に本事業の利用を呼びかけた。こうした学内の巡回中に、一般学生にその場で質問をされるケースも多々あった。そのような場合、質問をされたメンバーが質問内容を暗記し、ブースへ戻った後に報告と利用者詳細の記録を行っていた。

最後に、KU サポーターズのピア・サポート活動を知ってもらう目的に関して、こちらから団体名を名乗る場面が少なかったため、十分な広報効果があったとは言いがたい。同様に「ほっこり相談室」の紹介をすることも少なかった。ただし、ピア・コミュニティについては 2 名の一般学生に質問を受けたため、勧誘活動にならない範囲で説明などを行った。

改 善 点

オリエンテーションに参加する団体や学内施設について、事前に共有する研修をメンバーに対して実施し、メンバー各自の知識量の差を埋めておく必要があると考える。

学内の巡回中に一般学生から質問を受けた場合には、メンバーが質問内容をメモする筆記用具などを常に携帯することで、暗記よりも正確な手段で利用者詳細を記録できる。例年に比べると本事業に参加するメンバーが増加し、巡回も可能になってきたので、今後は学内を巡回するメンバーが利用者詳細を記録する方法も見直すべきだ。

KU サポーターズのピア・サポート活動を知ってもらうためには、本事業のような実際のピア・サポート活動を継続することが最も効果的だと考える。実際の活動を一般学生に見てもらうことで、興味を喚起することができれば幸いである。